



MESSAGE NOTES

わたししがいのちのパンです

ヨハネの福音書 6章

ロイド フラハティ

1. 5000 人に食べ物を与えたイエスさま

イエスさまは飢えている人々を憐れまれた。人々への愛がその動機でした。イエスは「大麦のパン5つと魚2匹」で五千人を養われた。(ヨハネによる福音書 6:1-12 要約)

2. なぜ人々はイエスさまを探していたのか?

ヨハネの福音書 6章 26 節

イエスは彼らに答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたが、わたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからです。

3. イエスさまはパンを与えるために来られたのではなくパンとなるために来られた

神様は、より素晴らしいものを与えてくださいます。

私たちはしばしば、神様が持っておられる自分へのご計画が考えられないほど壮大であることに気づかず、自分がベストだと思うものを与えてほしいと願います。

ヨハネの福音書 6章 34~35 節

そこで、彼らはイエスに言った。「主よ、そのパンをいつも私たちにお与えください。」イエスは言わされた。「わたししがいのちのパンです。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことがありません。

まとめ:

ヨハネの福音書 6章 27 節 を見てみましょう

「なくなってしまう食べ物のためではなく、いつまでもなくなる、永遠のいのちに至る食べ物のために働きなさい。それは、人の子が与える食べ物です。」

自分の限られた理解にしがみついていると、神様が私たちに意図しておられる真理や祝福が見えなくなってしまいます。

イエス様の教えは、もっと大切なことがあることを常に思い出させてくれます。この世で受ける祝福は、この先に受けるであろう、本当の祝福をほんの一部だけを味わっているにすぎません。

家庭でヨハネの福音書 6章 1-51 節 を復習しましょう。